

医療・健康情報委員会では、公共図書館・患者図書室への支援や医療・健康情報サービスのための職員研修を実施しており、今後の委員会活動の参考情報として標記アンケートを実施いたしました。その結果を報告いたします。

調査対象：

- ・都道府県立図書館中央館 47 館
- ・図書館海援隊参加館の市区町村立図書館のうち、医療・健康情報サービスを実施しているとみなした 23 館
合計 70 館

調査方法： 郵送にて依頼状送付、web もしくは FAX にて回答

調査期間： 2013 年 10 月 1 日～10 月 31 日

回答館：68 館（回答率 97.1%）（ただし、上記期間外の提出分も集計対象に含む）

内訳） 都道府県立図書館 46 館（都道府県立図書館回答率 97.9%）

市区町村立図書館 22 館（市区町村立図書館回答率 95.7%）

設置種別の割合は直営 62 館、指定管理 4 館、その他（一部委託など）2 館です。

◇ **現在、医療・健康情報サービスを実施しているのは調査回答館の 67%です。都道府県立図書館においては半数以上が実施していると回答しています。**

	都道府県立図書館	市町村立図書館	合計
実施中	27	19	46 (67.6%)
未実施	19	3	22 (32.4%)

●実施している館からは、

「コーナー設置後、医療・健康情報に関する資料の貸出が以前より増加し、全体の図書貸出冊数の 2%ほどとなった。」

「全国的にも抜きん出て高齢化率の高い地域であるので、貸出しやレファレンスも多く、利用者からも良い評価を頂いている。」

「コーナーを設けたことで各分類の本が一か所にまとまり、利用しやすいと好評。」

「健康・医療情報コーナーを常設していることで病気について調べたい！訊ねたい！と思って来館された方は職員に声をかけやすく、病気ごとに入れて見出しで（逆に声をかけられたくない、話したくない方でも）本を探しやすいと言われます。」

などの声があり、効果や利用者からの評価を得ているようです。

●実施の方法としては、さまざまな分野の医療・健康情報関連資料を1箇所まとめて配架しコーナー化するだけでなく、①NPO・患者会・家族会等と連携しパンフレット・フリーペーパーを設置、②パスファインダーやホームページ上のリンク集の作成や医療情報データベースの提供、③長期入院患者への貸出、④市保健センターや病院図書室と連携してサービスを提供、⑤医療・健康相談会を実施して医師が一般市民から相談を受ける、などが報告されました。サービス開始時期は一番早い館で1987年ですが、2005年以降に開始した館が多く見られます。

●一方、サービス提供にあたっての課題も挙げられました。

「最新情報がインターネットでしか見つからないこともあるが、信頼できるものか判断が難しい。」

「職員が利用者のニーズを知る機会はほとんどなく、またそれに応えるだけの予算、書架スペース、職員の力量が不足している。」

「レファレンスにセカンド・オピニオンのものを求めてくる人もいて、サービスの趣旨を伝えるのに苦慮することがある。」

「専門書では難しすぎ、一般書では簡易すぎるという部分で、どのような資料を購入していけばよいかは検討課題です。利用はとて多く、貸出も多いので、今後も資料を増やしていきたいと思っています。利用者は特定の病気の情報を求めてくる人も多いので、どこまで資料を集めていくかも悩みです。」

「本の情報が古くないか確認するのが難しい。コーナーと一般書架の資料のバランスにも悩む。」

「鮮度が高い医療情報を提供するための資料費の確保。専門家（機関）への橋渡しの難しさ。」

●また、未実施館の理由としては、「特にコーナーとして設けているわけではないが、図書館サービスの1つとして基本的資料の収集には努めている」という回答が多く見られ、それ以外では現在サービス提供検討中の館や、「以前医療情報コーナーを実施していたが、廃止した」という館もありました。

◇ 調査回答の半数以上で近隣の医療系大学図書館、病院図書室に協力を求めたいと思った経験がありました。

	都道府県立図書館	市町村立図書館	合計
経験あり	30	14	44 (65.7%)
経験なし	15	8	23 (34.3%)

(未回答 1館)

協力を求めたい内容としては、

- ・雑誌の論文の提供、また、それを視覚障害者に提供するためのスキャンとテキスト・ファイル化
- ・難度が高く回答が容易でない医療・健康分野のレファレンス・質問への助言や当館未所蔵資料の相互貸借
- ・利用者のニーズ
- ・各疾病患者について知っておくべきこと、よくある質問、取り組んでいるサービス、市販されていない資料など、関連する情報の提供。
- ・レフェラルサービスを受けてもらえる体制
- ・当館の蔵書状況を見ていただき、それを踏まえた上での選書のアドバイス などが挙げられました。

協力を求めたいと思ったことがない館の回答としては、

- ・協力をあおぐほどの詳しいレファレンスがあまりないため
- ・図書館資料に基づく情報提供としているため
- ・大学図書館等とのネットワークがない
- ・既に医療系大学図書館との連携により、情報提供、機関紹介を行っている などが挙げられました。

◇ **過去3年以内の医療・健康情報サービス研修は回答館の66%で実施されました。**

この設問の回答館 53 館のうち、35 館で何らかの研修を実施しています。その方法としては、「日本図書館協会、日本医学図書館協会、日本薬学図書館協議会、日本病院ライブラリー協会などの団体が主催の研修に職員を派遣した」「医療・健康情報サービスの先進的な図書館の視察を行なった」「自館での職員研修」という回答が多く見られました。その他、「県内他図書館主催の研修に職員が参加した」「専門機関（病院、大学、保健所など）主催のセミナー・研修会に職員が参加した」「その他研修（都道府県図書館協会主催の研修など）」という回答も見られました。

また、都道府県立図書館に対して、都道府県内の市区町村図書館からの医療・健康情報サービス研修に対する要望の有無を調査したところ、10 館から要望があるとの回答がありました。

◇ **研修は、「地元の医療系図書館が地元で開催する研修会」が望まれています。**

医療・健康情報サービスの研修会を受講する場合に望ましい方法はどれか、4つの選択肢に順位をつけて回答して頂きました。その結果、1位として多く選択されたのは「地元の医療系図書館が開催する医療系図書館員向けの研修会に参加する」（以下、地元の医療系図書館員向け）でした。以下、「地元の医療系図書館員を講師に迎える講習会を自館主催で開催する」（以下、自館主催）、「日本医学図書館協会が東京都内で開催する「医療・健康情報サービスに関するプログラム（2日間）」に参加する」（以下、日本医学図書館協会）、「上記以外の研修会を行なう」（以下、その他）の順で選択されました。

更に順位で重みづけし地区別（北海道/東北/関東/北信越/東海/近畿/中国四国/九州沖縄）で見たところ、以下の表のような結果となりました。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国四国	九州沖縄
1位	地元の医療系図書館員向け	地元の医療系図書館員向け	日本医学図書館協会研修	自館主催	地元の医療系図書館員向け	地元の医療系図書館員向け	地元の医療系図書館員向け	地元の医療系図書館員向け
2位	その他	自館主催	地元の医療系図書館員向け	地元の医療系図書館員向け	自館主催	自館主催	日本医学図書館協会研修	自館主催

尚、「上記以外の研修会」としては、

- ・JMLA 主催の研修会をインターネット配信し、地方で受講できるようにする
- ・Ustream, 遠隔研修(Web コンテンツ)
- ・地元の医療系図書館員を講師に迎える講習会で、主催を市立図書館の中心館とし、市立図書館職員全体が参加できる研修を開催し参加する
- ・地元の医療系図書館員を講師に迎える講習会で、自館単独でなく、近隣自治体と協力して開催する
- ・日本医学図書館協会が地域で開催する医療・健康情報サービスに関する研修に参加する
- ・先進的な公共図書館等から講師を招き県内で研修会を開催する

などが挙げられました。

自由記入欄

●地元での研修会開催の要望が多く見られました。

●日本医学図書館協会が実施する研修会の内容については、

「患者やその家族のニーズ、資料や情報の入手方法、公共図書館や医学系大学図書館、病院図書室等でおこなわれている取り組み」「公共図書館での医療・健康情報サービスの提供には種々の限界があると思うので、医療系図書館との連携が具体的にどのように可能か（どんな資料や情報をどの程度まで提供してもらえるのか、直接利用者が行く場合の受け入れ体制や受けられるサービスなど）」などに触れてほしいという要望が挙げられました。

●それ以外では、

「公共図書館職員でも受講できる研修を増やし、定期的にまたは継続的に開催してほしい」、「研修受講後にも、受講生同志が情報交換・意見交換できる場がほしいと思います（メーリングリスト等）」、「医療系図書館側でも一般公衆の来館、問い合わせに応じられるような研修を行っていただければと思います」、「講師派遣や研修内容の相談等でご協力いただけるとありがたい」、などの要望がありました。



医療・健康情報委員会では今回の調査結果を参考に、一般市民向けの医療・健康情報サービスを提供する図書館対象の研修会を企画・実施してまいります。ご多忙の中、調査にご協力下さいました図書館に感謝申し上げます。